

# 部活動・自主活動特集



①2年生白馬合宿  
②柔道部インターハイ出場  
③オーストラリアホームステイ  
④テニス部  
⑤ワングル部 夏山登山  
⑥ハンドボール部

「夏の思い出」という歌があります。「それってケツメイシの?」そう聞かれそうです。

同じ題名で、もっと前に作曲された合唱曲があります。

♪夏が来れば思い出す はらかな尾瀬 遠い空…

ひょっとして中学でも習ったのではないのでしょうか。

それとは別に「夏の日の思い出」という歌まであり、どうやら昔から夏は思い出に残る季節だったようです。

この夏、「思い出」を残した部活動もあります。人によっては文化祭準備や進路で頑張ったのが「思い出」かもしれません。

みなさんはどんな「思い出」を残したのでしょうか?

学校長 井戸 裕久

## 8月19日 PTAバスツアー 今年は神戸で研修しました!

8月19日、バス2台89名の参加者を乗せ、神戸へPTAバスツアーに出かけました。昼食は牛ステーキ御膳。2時間の食事時間があつという間に感じるほど、和気藹々(あいあい)とPTA会員同士懇親を深めました。

その後、1995年に発生した阪神淡路大震災の様子と、その後の復興状況を展示する「人と防災未来センター」で研修を行いました。映像コーナーでは、当時の様子が映し出された巨大スクリーンを見ながら、震災を疑似体験しました。阪神淡路大震災の教訓が分かりやすく展示されており、東日本大震災から1年半経過した今、自然災害の恐ろしさとその備えを改めて考える良い機会となりました。

その後は、南京町(神戸中華街)を自由散策。東西約200mのメイン通りに100店を超える点心やスイーツなど多彩な屋台やレストラン、土産物店がずらりと並び、参加者各自が中華街の食べ歩きを楽しみ、お土産も買いました。

PTA文化委員のみなさんに準備頂いたおかげで、大変楽しいバスツアーとなりました。

(教諭/日比)



## 2012年度 地域懇談会 「みんな来て来て!本音でトーク」 ~だれでもどこでも 同朋女子会+α(男性歓迎)~



毎年保護者の約3割が参加する「地域懇談会」は、県下でもまれな取り組みです。本校の地域懇談会は、今年で36回を迎えました。今年も卒業生による体験発表や卒業生保護者による講演が多く企画され、そのどれもが好評でした。なかでもNick先生による英語の授業や卒業生によるハーブ演奏、卒業生のマジックショーは保護者の反応も良く、同朋らし

さが出ていたようです。

また、卒業生による受験体験談や受験生を持った保護者の体験談などの講演は、保護者にとって今の悩みを解消するエキスがふんだんに盛り込まれているため、熱心に聞き入っていました。

このように保護者のみなさんの不安や相談に、先生だけでなく上級生や卒業生の保護者が親身になって耳を傾けていただいた地域懇談会となりました。

12月8日(土)には「同朋オープンフォーラム」が予定されています。このフォーラムにもぜひ多くの方の参加をお願いしたいと思います。

(教諭/北澤)

### 地域懇談会でいただいた感想(一部)

■今年の地域懇談会はあえて講演をなくし、ざっくばらんな雰囲気の中で、保護者のおしゃべり会を目指して行われました。結果「アットホー

ムな感じ」「参加しやすい」「本音の話が聞けた」など、参加者同士、先生方とも本音で話すことができました。これから先、何か学校の事や子どもの事でどうしたらいいかわからなくなった時に、お互いの顔を思い出して支えあえると信じています。これからも有意義な懇談会が続けられていく事を楽しみにしています。(尾張西部地区)

■難しい年頃で、親子でコミュニケーションがうまく取れないと悩まれる親も多いが、それが高校生。親も子どもたちの年頃独特の、やり場のない気持ちなどを理解しつつ、学級懇や地域懇などを利用し、親も学び、親子で学び、苦しみながら、時には楽しく、たくさんの経験をして、有意義な高校生活を送って欲しい。(中川C)

■特進などコース別にクラスを分けていないので、障がいやいろいろな子どもたちの中で自分をしっかり持って成長していけるのはいいが、「自由の履き違え」が気になる。その時々々の場面に合った、柔軟に規律を守る芯のある子どもになるよう指導して下されると、人生の壁にぶつかっても乗り越えていけるのでは…。規則で管理する方向でなく、生徒と心と心の交流が同朋の良さだと思う。(熱田・港東地区)



## Schedule (行事予定)

10月		11月			
1	月	文化祭代休	10	土	第2回学校説明会
3	水	Unity College生徒来校(6日まで)	11	日	電卓検定・秘書検定
5	金	合唱・オーケストラ演奏会	14	水	生徒会立会演説会
10	水	2年生進路ガイダンス(生徒)	16	金	3年音楽科公開実技試験
15	月	午前授業	17	土	自由選択講座
16	火	2学期中間考査(19日まで)	25	日	ワープロ検定
26	金	後期クラブ総会	26	月	2学期期末考査(12月1日まで)
27	土	第1回学校説明会	28	水	学園研鑽日

## 生徒会役員新体制

6月に2012年度前期生徒会役員選挙が行われ、次のように選出されました。

生徒会長	201 穂積 秀哉 (江南市立古知野中学校出身)
副会長	207 中川宏二郎 (港北中学校出身)
	201 土屋 桃乃 (黄金中学校出身)
執行委員	204 清水 大道 (南陽中学校出身)
	103 市川菜々子 (鈴鹿市立白鳥中学校出身)
	105 香田 光貴 (豊正中学校出身)
	109 二村 優伽 (一柳中学校出身)

# 同朋生、青春の1ページ

## ◆柔道部

### 「感謝」

307 原 啓太  
(大治町立大治中学校出身)

私の高校生活を言葉で表すならば、「感謝」と「柔道部」です。私は「絶対に柔道で全国と戦うんだ」と覚悟を決めて同朋高校に入学しました。

中学生の頃、腕っ節が強い私は誰にも負けない自信があったのですが、高校柔道部の稽古初日に、中学と高校との差を感じました。スピード、パワー、技のキレ：中学とは比べ物になりませんでした。この経験から、私は今まで以上に火が付き、毎日の稽古やトレーニングにも励むようになりました。「まずは同朋で1番。次に県で1番になるんだ」と考え、どうしたら早く強くなるかを求めました。私が見つけた答えは、柔道部顧問の藤山先生を倒すことです。全日本クラスの藤山先生を倒すことができれば、県大会で優勝できると信じ、毎日の乱取りは藤山先生にお願いしました。しかしそれは、稽古を付けてもらうというより「闘う」「倒す」。あくまでも本気なのです。

3年間を通して、私は全国大会に出場することはできませんでした。試合に負けた日は、自分自身が馬鹿馬鹿しくなり、涙を流すことも多々ありました。「ここが勝負」という所でどうしても緊張が高まり、自分で自分を追い込んでしまい負けてしまいます。今考えると、もっと力を抜いていけば良かったのに...と思います。同朋柔道部は、心も大きく育ててくれた場所でも

あります。礼儀や人間性、感謝など、たくさんのお話を学びました。それを教えてくれたのは、顧問の藤山先生と中田先生です。2人の先生には言葉では言い表せないくらいの感謝をしています。他の学校の先生からは、「原は同朋ではなく、もっと強い学校に行けば、絶対に全国に行けた」と言われますが、私はそうは思いません。藤山先生だから、藤山先生だったからこそここまで来ることができたと思います。藤山先生が顧問でなければ、私をコントロールすることはできなかったでしょうし、私自身が藤山先生以外の先生が顧問をする柔道部を考えることができません。それほど、藤山先生には感謝しています。そして、同朋に通わせてくれた両親と、3年間支え合ってきた仲間にとっても感謝しています。

## ◆乗馬部

### 「馬ともども...」

309 柄本 睦  
(東浦町立北部中学校出身)

私が乗馬部に入ったのは、「動物が好き」という理由でした。乗馬の経験もなかったので、不安なことが多かったです。

乗馬部は普通の部活動とは違い、学校が終わったら自転車や庄内川を越えて、約10分の所にある「大治馬場」を練習場に、毎日活動しています。雨が降ると馬に乗っての練習はできませんが、どんな天気でも朝と夕方に当番を決め、馬の世話をしています。当番



の仕事は餌やり、馬房(馬の部屋)の掃除が主なものです。家が遠い部員は始発の電車に乗って通う部員もいます。夏休みは馬の体調を考えて毎日朝早くから練習を行います。練習も作業も当番も大変ですが、みんな馬が大好きなので頑張っています。

6月にインターハイの東海地区予選がありました。同朋は団体戦で8年連続インターハイに出場していましたが、惜しくも負けました。しかし、個人戦ではなんとインターハイに出場する事ができました。私一人という事で、とても心細かったのですが、部員や先生方、コーチの応援のおかげで、勇気をもらう事ができました。試合は負けてしまいましたが、私は乗馬部に入部した事で、本当に多くの事を学ぶ事ができました。これからはその経験を先輩に教えながら、私達よりももっとうまくなって、団体戦も個人戦もインターハイに出場してほしいです。

## ◆書道部

### 「粒々辛苦の大学賞」

209 土井 美沙季  
(宮市立奥中学校出身)

私は小学校1年生から書道を習っています。小学生の頃はどちらかというと書道は苦手でした。でも、中学生になって、何事にも真面目に取り組みようになると、一気に級が上がっていき、それが面白く、上達しているのが目に見えて分かり、嬉しくなりました。書道が好きになったのはこの頃からです。

同朋高校へ入学しようと思ったのは、書道部があったからです。墨を含んだ筆が滑らかに紙を滑る感触が

心地よく、何回失敗してもあまり嫌な気持ちになりません。それに、手本と向き合って字の練習をしていると、日本の文字の美しさに気づかれます。部活動では、自分で書く字を決めるのですが、私はその作業がとても好きです。それは古典などから探す際に、素敵な言葉に出会えるからです。

書道部は活動の「環」としていろいろな書道展に出品する機会もあります。私は昨年、岐阜女子大学主催の書道展で「奨励賞」をいただきました。今年は、課題に古典の臨書を選びました。臨書とは、古典をつくりに文字を書かなければなりません。私は唐の四大家の一人である褚遂良の晩年の作「雁塔聖教序」の中の「無累神測」という四字を先生と相談して決めました。

最初のうちは「無」が苦手だったり、「累」のバランスが取れなかったりとかかなり苦戦しましたが、先生の添削のおかげで、ひきしまった線と美しい字形を表現できるようにになりました。清書では、筆に「いい賞をとる」という思いを乗せて全力で書きました。その結果、昨年より上の賞である「大学賞」という結果を聞き、私は頑張ってきた成果が出て良かったと嬉しく思いました。

今回の事を励みとして層精進し、これからも紙と真摯に向き合って書道を続けていきたいです。



## Club & Award News

### 柔道部

- 平成24年度少年男子国民体育大会柔道競技愛知県二次予選会
 

男子 90kg	原 啓太(307)	大治町立大治中学校出身	優勝
60kg	木全 大基(208)	宮中学校出身	3位
- 第59回東海高等学校総合体育大会柔道競技
 

女子 団体優勝			
78kg	山本ももこ(309)	いなべ市立藤原中学校出身	2位
70kg	中村 友美(309)	安城市立安城北中学校出身	2位
- 国民体育大会柔道競技最終愛知県選考会
 

男子 90kg	原 啓太(307)	大治町立大治中学校出身	準優勝
女子 52kg	向川 春美(310)	港明中学校出身	3位
70kg	中村 友美(309)	安城市立安城北中学校出身	優勝
	岩崎理香子(305)	小牧市立小牧中学校出身	準優勝
	平岩 亜扇(301)	豊川市立西部中学校出身	3位
無差別	山本ももこ(309)	いなべ市立藤原中学校出身	準優勝
- 第15回全日本女子ジュニア柔道体重別選手権大会東海地区予選
 

女子 78kg	山本ももこ(309)	いなべ市立藤原中学校出身	優勝
全国大会に出場します			
70kg	中村 友美(306)	安城市立安城北中学校出身	優勝
全国大会に出場します			
- 平成24年度全国高等学校総合体育大会(北信越かがやき総体)
 

女子 57kg	平岩 亜扇(301)	豊川市立西部中学校出身	5位
63kg	中村 友美(309)	安城市立安城北中学校出身	5位
78kg	山本ももこ(309)	いなべ市立藤原中学校出身	5位

- 平成24年度全国高等学校総合体育大会(北信越かがやき総体)
 

愛知代表チーム優勝	中村 友美(309)	安城市立安城北中学校出身
全国大会に出場します		

- 乗馬部
 

●東海高校馬術選手権大会	柄本 睦(310)	東浦町立北部中学校出身	5位
全国大会に出場しました			

- ラグビー部
 

●市民スポーツ祭 15人制	準優勝
---------------	-----

- 書道部
 

●岐阜女子大 全国書道展	大学賞	土井美沙季(209)	一宮市立奥中学校出身
	優秀賞	岩田 麻佑(307)	御田中学校出身
		花木 美名(309)	津島市立神守中学校出身
		伊藤 駿(108)	日比津中学校出身
	努力賞	若尾 衣織(302)	多治見市立平和中学校出身
		松山 拓未(101)	日比津中学校出身
	秀作賞	板東 佳奈(104)	岩倉市立岩倉中学校出身

- 水泳
 

●愛知高校新人体育大会水泳競技名古屋南北支部合同予選会			
100mバタフライ	近藤 健斗(203)	蟹江町立蟹江中学校出身	予選タイム通過
県大会出場			

- お〜いお茶新俳句大賞
 

都道府県賞	中田さくら(208)	一柳中学校出身	「振り向いてほしいと願う夏祭り」
佳作	坂田 一輝(201)	豊正中学校出身	「恋文や入道雲に覗かる」
	岸 寿鈴(204)	港北中学校出身	「猫あくび春はまだだねもうひと寝」
	竹田 陽一(205)	高針台中学校出身	「制服も自分の心も衣替え」

# この一瞬に懸ける生徒たち



# 先輩からのメッセージ!

## イギリス柔道ナショナルコーチ

中野 裕子さん  
(2000年度普通科卒業)

私の30年間を振り返ると、それは、柔道中心の「柔道馬鹿人生」です。  
「柔道は今しかできないから、それに力を注げる高校に行きなさい」と中学時代の担任のこの一言で、同朋高校を受けることを決めたのは、もう15年前の事。

夜明け前の始発電車に乗り、早朝練習では運動場を何周も走り、階段を駆け登り、少しペースが落ちると、先輩に追いかかれ。その後授業に遅刻しないように、汗も引かぬまま、教室へツッシュ。授業が終われば、また道場へ直行して、投げたり投げられたり、縮めたり縮め落とされたり。家に帰ればもう日は落ちており、また朝が来れば始発に乗る。志望動機からもお分かりいただけるように、これが私の高校生活でした。これを充実した生活とはえるか、練習と勉強に追われる日々とらえるかは人それぞれですが、私にとっては、今でも思い出深き、楽しく活気に満ちた濃密な3年間だったのです。

何がそう思わせるのか、ふと考えてみると、すべてが新鮮で刺激的だったからだと思います。道場では、監督の指導を仰ぎ、仲間と切磋琢磨し、教室では、世の中の不思議と勉強をリンクさせて上手に教えてくださる先生方の説明に、興味を掻き立てられ、休憩時間になれば、クラスの友達から得る、柔道以外の発見にワクワクし。常に心が



動かされていきました。部活動でも、授業でも、私を指導してくださった先生方はみな情熱的で、生徒の意見や気持ちを尊重し、そのニーズに合わせてベストを尽くしてくださいました。大学入試に小論文が必要だったために、「日題を課し、毎日添削し、アドバイスをくださったのは、今でもとてもありがたく思っています。」

当時は、ただただ、自分のやりたいことに心不亂にエネルギーを注いでいたのですが、それができたのは、先生方の多大なサポートや仲間たちからの刺激があったから、成し得たのだと、今振り返って、つくづく感謝するのです。

高校卒業後、広島大学大学院と進み、高校時代と変わらず、柔道と勉強、そして人との出会いを通して、学び多き日を過ごしました。院終了後は、イギリスに渡り、今もなお、柔道を通して出会う人々から刺激を受けながら、マイペースに探求を続けています。30歳になる今も、何の保証もないのに、何の迷いもなく、心のときめく方へと進んでいく、無鉄砲ぶりに、さすがに両親は気を探んでいるようですが、人に生かされ、そのつながりの中で成長させてもらう喜びを私に学ばせた同朋高校のせいということにして、今日も畳の上に立ちます。

進む道に正解、不正解はありませんが、同朋高校進学を決めた15年前の選択に、我ながらハナマルをつけたと思います。みなさんも、同朋高校で大いに心を動かし、人間磨きを楽しんでくださいな。

### 〈中野 裕子〉

大府市立大府中学校卒業  
同朋高等学校普通科卒業  
広島大学教育学部卒業  
広島大学大学院教育学研究科修了  
ロンドンオリンピック・英国柔道ナショナルチームコーチ(2010.5)  
中野さんが指導する女子78kg級のジェマギボンズ選手がロンドンオリンピックで銀メダルを獲得。イギリス柔道界に12年ぶりのメダルをもたらしました。

## 白馬セミナー 学習合宿

### 充実した白馬セミナー(2年生)

7月28日から8月1日まで4泊5日の日程で実施した「白馬セミナー(学習合宿)」。今年は、23名の生徒と教員7名とで長野県白馬村にある民宿「かねぶん」を会場に行ないました。

「現代文」「古典」「英語」「数学」「理科」「小論文」の科目を選択しての学習会形式での実施となりましたが、参加生徒は、今まで勉強してこなかった自分を変えたいという強い「信念」を持って取り組み、来年に向けての受験対策を、モチベーションという真剣な思いがこもった学習合宿になったと思います。

民宿の主人が「今年の白馬は本当に暑い」と言われましたが、体育館の中で教える先生と学ぶ生徒の両者の姿をみると、とても「熱い」ものを感じました。暑い白馬でも朝晩は涼しくて過ごしやすく、おいしい食事や山登りといったレクもあって、生徒同士の交流も深まり、最終的には「学びの集団」ができあがりました。  
(2年学年主任/高橋)



### 白馬セミナーに参加して

203 間野 春香  
(稲沢市立治郎丸中学校出身)

正直、食事を目当てに合宿に参加するつもりでした。合宿初日から勉強する時間の多さに、何度もうまくいかなかったけれど、やっていると、不思議とそれに慣れてきました。

日が経つにつれ、勉強は確かに辛かったですが、おいしい食事やレクリエーションで山登りをするなどと、たくさん友達と交流ができ、楽しい時間を過ごすことができました。

学習面では受験に関係する科目を分るまで教わり、普段理解できないような内容が理解できました。この合宿に参加して本当に良かったです。

小論文の書き方などまったく知りませんが、先生からアドバイスを頂いて頂いたおかげで、多少はうまく文章が書けるようになりました。

家で学習が全然足りなかつたというのに気づいたので、この白馬合宿をきっかけに来年の受験勉強を頑張りたいと思います。



# オーストラリア ホームステイプログラム

8月4日(土)から19日(日)までの16日間。1年生3名、2年生8名、3年生2名の計13名と引率教員2名で、姉妹校であるUnity Collegeへ語学研修プログラムに出かけました。天候にも恵まれ、自然豊かなオーストラリアをおもいきり満喫することができました。

今年度は10月3日から6日にかけて、Unity collegeの生徒が、同朋高校生徒宅にホームステイをしました。今後、両校の交流がさらに発展することを楽しみにしています。

(教諭/尾崎)



## LOVE AUSTRALIA (黄金中学校出身) 104 高田 ひかる

私は、今回オーストラリアホームステイプログラムで、たくさんの事を学び、感じ、体験しました。

まずは、オーストラリアにはとてもフレンドリーな人が多いという事です。日本とは違い、初対面でもすぐに打ち解けてもらえました。また、分からないことがあると、丁寧に教えてくれました。ネイティブな英語が、まだ上手く聞き取れない私にも分かるようにと、簡単な単語や文を使って話してくれて嬉しかったことを覚えています。時には翻訳アプリを使いながら、1語でも多く私たちに伝えようとする気持ちを感じました。そして、初めて自分が話した英語が通じたときは、

とても嬉しかったです。日本で言葉が通じることを当たり前だと思っていた自分を見直すいい機会となりました。

ある時、ホストファミリーと一緒に「Google Earth」を使い、私が住んでいる街の紹介や日本の名所を説明しました。お世辞にも上手とは言えない英語でしたが、ホストファミリーは熱心に聞いて下さり、時には質問もしてくれ、最後には「Good English!」と言ってくれました。

オーストラリアには、日本と違うところがたくさんあり、毎日が新しい発見の連続でした。オーストラリアに行くまで英語だと思っていた言葉が、実は和製英語で、相手に伝わらない時には驚きました。今まで、自分の英語が通じないのは発音が悪いからだと思っていましたが、このことがあってから、今までの自分の英語を見直し、一言でも相手に伝わるように努力するようになりました。

このオーストラリアホームステイプログラムでは、普段味わうことのできないことをたくさん経験でき、本当に充実した毎日となりました。私はこのプログラムで、数え切れないほどのたくさんの思い出ができました。ホストスターとビーチへ行ったこと、学校で下手な英語ながらも会話ができたと…本当にたくさんの思い出ができました。

ホームステイ最終日。私は日本に帰りたくない気持ちでいっぱいでした。この2週間多くの人に迷惑をかけ、多くの人を頼り、支えられながら過ごしました。今回のオーストラリアホームステイをサポートして下さいました。下さった方々に、「ありがとうございました」という気持ちでいっぱいです。



## 商業科 職業教育技術顕彰をいただきました



愛知県は職業資格の取得を通し、技術・技能の習熟、目的意識をもって充実した学校生活を送り、将来に渡り豊かな職業生活を営むことを目的とした技術認定制度があります。

本校からも日頃の学びの成果が実り、商業科3年生の生徒を中心に46名の生徒が愛知県知事から職業教育技術顕彰が授与されました。

顕彰が授与されたことを自信と感じ、これからも学びに対して真摯に取り組んでまいります。

(商業科主任/平野)

### 愛知県職業教育技術顕彰受賞者

川田 高弘	相羽 美里	飯田 華菜	美 瞳	岩谷 美玖	上ノ山 綾乃	柄本 睦	岡島 遼佳
片岡 杏純	加藤 華奈	鈴木 歩	中島 明日香	中島 明日香	日比野 夏海	児玉 英駿	横井 貴成
秋田 百香	浅野 幸恵	北原 歩	近藤 穂子	近藤 穂子	清水 彩花	園山 里菜	豊岡 美穂
長瀬 瑠菜	中武 永	野島 絵梨奈	向川 春美	向川 春美	八木 香	吉崎 優実子	吉田 有伽
永田 稔将	宮成 優斗	足立 ひかる	石田 恵舞	石田 恵舞	井戸原 李亜	井上 麻衣子	加太 千恵
川田 里梨	葛谷 有希	黒田 珠里	小林 香澄	小林 香澄	篠田 沙也香	服部 未侑	林 あゆみ
藤井 翔子	松本 恭佳	山田 歩	花井 常晃	花井 常晃			

## 音楽科

# アンサンブル演奏会

### 人と音を合わせる楽しさ

312 成澤 紅令葉  
(小牧市立桃陵中学校出身)

アンサンブル演奏会を通して、私はたくさんの人と力を合わせて一つの曲を演奏する楽しさを知りました。練習を始めたころは、他の人と息を合わせながら演奏ができるか不安でした。でも、みんなが時間を作って練習していくと、きれいな音が合うようになった。自分のミスも、最初は言えませんが、練習を重ねるにつれ、伝え合うことができるようになりました。

アンサンブル演奏会の当日はものすごく緊張しましたが、それ以上にとても楽しかったです。今まであまり話すことがなかった子と話すことができ、とても充実した日を過ごすことができました。今回のこの体験はとてもいい経験になったと思います。この経験で学んだことを、次の文化祭での発表や実技試験で生かしていけたらと思います。

### はじめてのアンサンブル演奏会

312 高木 真子  
(豊田市立竜神中学校出身)

アンサンブル演奏会は、私にとって初めての経験でした。先生から演奏する曲をもらった時はとても嬉しかった反面、相手と上手く合わせられるか不安でした。

二人の練習が始まったのは、本番の約1か月前でした。最初はお互い自分のことばかりで、いっばいいっばいで、相手の音を聞くことができませんでした。また、音が合いませんでした。でも、担当の先生方から指導をしていただき、だんだんお互いの音を聞くことができるようになりました。

夏休みが終わってからは、毎日時間があれば2人で練習しました。本番前夜は、緊張で眠れませんでした。当日は、1時からリハーサルが行われました。今までで一番良い演奏ができたので、本番が楽しみでした。

演奏会が進み、最後は私たちが演奏します。私にとって久しぶりの舞台で、緊張から脚が震えました。演奏が終わった時にはホッとしましたが、少し寂しい気持ちもありました。

このような貴重な経験ができて本当に嬉しかったです。

